

授業科目名		担当講師名		対象学年	
解剖生生理Ⅲ・心臓・循環器		佐野 常男		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(20)	教室	前期	水曜日	4限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある講師による授業である。				
学修内容	心臓の構造、心臓の弁、肺循環、体循環、刺激伝導系、心電図				
到達目標	<p>正常な人体の形態、機能を関連づけて系統的に理解し、生命への畏敬の念を育む。</p> <p>①心臓の形態と心収縮の仕組みについて理解する。</p> <p>②全身の血管の名称、血管の構造、血液の働きについて理解する。</p>				
事前学習	教科書を読んでおく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第4章 末梢循環系の構造：血管の構造（動脈、静脈、毛細血管） 肺循環の血管（肺動脈、肺静脈）
2・3	体循環の血管：（上行大動脈、大動脈弓、腹大動脈、脳循環） （上代静脈、下大静脈、腹大静脈、門脈）
4・5	第4章 血液の循環の調節：血圧のしくみ、血流量の調節、微小血管 リンパとリンパ管
6	第4章 心臓の構造 心臓の位置と外形、心臓の4つの部屋と4つの弁、心臓壁 心臓の血管と神経（冠動脈）
7	心臓の興奮とその伝播：刺激伝導系、自動性と歩調とり 心臓の拍出機能 心電図（不整脈、心停止とみなされる4つの状態）
8	心臓の収縮 心拍出量と血圧 心室の圧・容積関係 フランクスターリングの心臓の法則 心音と心雑音
9	第3章 血液の組成と機能（赤血球、白血球、血小板、血漿） 血液の凝固と繊維素溶解 血液型
10	まとめ 終講試験
履修上の要件	特になし 循環器の疾患については疾病と治療Ⅱで履修する。
テキスト、教材、参考書	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学
成績評価の方法	筆記試験 神経とあわせて解剖生理学Ⅲの単位とする。
備考	